

広報 おおくら 1

おかえり、なりわい灯す きよらなる里

令和4年
No.749



新庄中核工業団地

新庄市・大蔵村「共同広報企画」——魅力ある働く場所が地元にある——



令和4年 新年のごあいさつ

村民の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新春をご家族お揃いで健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。また、旧年中は村政の推進にあたりまして、格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、本村では大きな自然災害に見舞われることなく、国や県のご協力のもと令和2年7月に発生した豪雨災害の復旧事業が順調に進んだところでございます。

また、本村の水資源の活用と再生可能エネルギーの創出を目指し、升玉地区で官民共同での事業を進めておりました水力発電所が完成し、7月から発電を開始しました。今後、再生可能エネルギーを学ぶ場として公園整備等を計画したいと思っております。

などにも活用してまいります。

また、全国的な生活様式の変化により観光産業の疲弊に加え、米価が大きく下落する事態となりました。本村では、農業と観光業を基幹産業としており、疲弊する地域経済を支えるためにも、村民の方々のご意見を伺いながら、事業継続支援などに意を配する決意でございます。

こうした状況の中にあつて、大蔵村にとりまして、大変うれしい話題もございました。次世代を担う子どもたちの頑張りでございます。

全国学力テストの結果、大蔵小学校、特に大蔵中学校は全国平均を大きく上回る結果となり、県内の教育界から大きな注目を集めております。大変喜ばしいことであり、これまで子どもたちの教育にあたられました学校教職員をはじめ、関係されましたすべての皆様に感謝を申し上げます。言うまでもなく、子どもは社会の宝です。村として今後も子どもたちが苦手部分を克服し、更なる学力向上のため、そして、子どもたちの夢が叶えられるよう、できる限りの

新型コロナウイルス感染症について

では、全国的に収束する気配もなく、全国棚田（千枚田）サミットをはじめ多くの行事が開催方法の変更や中止を余儀なくされた年でもありました。村民皆様方のご努力により、昨年本村での感染者は確認されませんでした。今後、第6波と言われる感染拡大が懸念されているところでございます。村として、3回目のワクチン接種に向け、国からのワクチン供給を受け次第、早急に接種を開始できるような、万全の準備を進めております。さらに、新型コロナウイルス感染症に関する情報を早期に村民の方々にお知らせする目的で、村内全世帯にタブレット端末を配布いたしました。新型コロナウイルス感染症に留まらず、平時の情報発信、災害発生時などの緊急を要する情報発信

支援を行ってまいりたいと思っております。

さて、今年の干支は「寅年」であります。干支は、植物が循環する様子を表していると言われており、寅年は、「春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態」を表す年になると言われております。

本村を取り巻く環境は、未だ人口減少など厳しい状況にあります。さらに、新型コロナウイルス感染症についても、新たな生活様式の継続を余儀なくされることと思いますが、様々な技術革新により情報や物、人がより自由に行き交う時代に、「ここにしかないもの」「ここだからこそその魅力」を磨き上げ、堅実な歩みのもと、寅年にあやかり新しい成長の礎となるような一年にしてまいりたいと決意を新たにしたいところでございます。

結びに、令和4年寅年、村民の皆様、益々のご健勝ご多幸と共に、新しい年に大いなる希望を抱き、大蔵村共々に躍進の年になりますようご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。



大蔵村長 加藤 正美

ここにしかないもの
ここだからこそその魅力を磨き上げ
新しい成長の礎へとなる1年へ



くらっち導入

新しい防災行政無線システム 各家庭にタブレット端末を配備

スマートフォンやタブレットで文字や画像を受信する新しい防災行政無線システム「くらっち」を導入しました。新型コロナウイルス対策情報や災害情報、安否確認などをくらっちから発信することで、行政サービスのIT化が進められました。各世帯に配布したタブレットは、受信を知らせる音が鳴ったあと、本文を読み上げるシステムで、画像データなども一緒に受信することができます。



肘折温泉での新しい過ごし方 仕事をしながら滞在

コロナ禍でテレワークの需要が加速した令和3年。肘折温泉では、肘折いでゆ館と各旅館がそれぞれワーキングスペースとインターネット環境を整備し、「ワーケーション」を推進しました。肘折温泉に滞在しながら、パソコンで仕事ができる環境が整い、温泉で身体と心を癒しながら仕事をするワーケーションをする方が増えています。



04

始まる

ワーケーションが



2回の接種を実施

新型コロナワクチン

01

集団接種を県内でもっとも早く開始

大蔵村では早期に新型コロナワクチン接種を開始するため、診療所と健康福祉課を中心に接種体制を整え、4月18日に集団接種をスタートさせました。

65歳以上の高齢者はバスで接種会場まで移動し、接種を受けました。7月からは接種の対象者を中学生まで広げ、8月1日までに集団接種の全10回の日程を完了させました。そのほか、特別養護老人ホームでの施設接種や訪問診療を受けている方などの個別接種も進められました。



令和3年、こんな年でした。



ドカ雪

ドカ雪と冷え込みで 建物被害が相次ぐ

年始からドカ雪に見舞われました。その後の降雨と気温の低下で、重い雪がガチガチに固まり、建物の軒の破損や農業用のパイプハウスが倒壊するなどの被害が相次ぎました。



06

スカイランタン
フェスタ

短冊に願いをのせて スカイランタンを打ち上げ

7月17日、肘折いでゆ館前で、「七夕LEDスカイランタンフェスタ」が初開催されました。県外からも多くの方が訪れ、短冊とともに170個のスカイランタンが夜空を彩りました。



05

全国棚田(千枚田)サミット

棚田の取り組みを YouTube動画で配信

1年延期された第26回全国棚田(千枚田)サミットは新型コロナウイルスが全国で感染拡大していたことから、9月9日・10日の現地での開催に代え、YouTube動画でメッセージを配信しました。

銅山川の豊富な水を 活用した発電

大蔵村では民間との共同事業として、「おおくら升玉水力発電株式会社」を設立し、平成30年6月から舂玉砂防堰堤を活用した発電所の建設を進めてきました。6月に工事が完了し、7月12日から発電と売電を開始しました。

また、11月6日には敷地内で最上川さくら回廊事業の記念植樹が行われ、15本の桜の木が植樹されました。



02

おおくら升玉水力発電所で発電開始





「ふくだのやまあじさい保育園」は定員19名で、対象年齢は6か月から2歳までです。保護者が連携企業で働いている場合に入園することができ(地域枠もあり)、働き方に応じた柔軟な保育サービスを受けることができます。月曜日から土曜日まで開園しており、午後7時15

分まで延長保育を利用することができます。

▶特色1 看護師常駐

保育士のほかに、看護師が常駐しているため、子どもたちの体調の変化やけがへの対応を専門的な視点で行っています。

▶特色2 企業が保育料を支援

連携企業の場合、毎月6,000

特色ある取り組み！

ふくだのやま あじさい保育園

企業主導型保育施設として、平成30年10月に新庄中核工業団地内に開設されました。

円の保育料の支援があります。(第一子のみ)

▶特色3 連絡帳はアプリで

家庭と保育園の連絡帳のやりとりはスマートフォンのアプリで。保護者はすき間時間を使って家庭での子どもの様子を入力でき、保育園での様子もアプリで確認することができます。

新庄市・大蔵村「共同広報企画」 — 魅力ある働く場所が地元にある —

新庄中核工業団地

新庄中核工業団地の分譲開始から今年で38年——。新庄中核工業団地は、身近な働く場所として、多くの雇用を生み出しています。今回は、工業団地の設立からの歩みを振り返り、現在行われている働きやすい環境づくりや将来の担い手確保に向けた取り組みを紹介し、地域が望む若者の地元定着について考えます。

全国9番目に誕生した
「新庄中核工業団地」

新庄市の福田山に位置する「新庄中核工業団地」は、全国で9番目の中核工業団地として、地方に仕事をづくり、地方の産業振興と地域経済を発展させることを目的に、地域振興整備公団(現在の独立行政法人中小企業基盤整備機構)により整備されました。新庄中核工業団地は、最上地域の発展の拠点や地域経済の起爆剤となることが期待され、団地造成が行われました。整備された団地の面積は102ヘクタールで、昭和59年7月に団地の分譲が開始されました。

最上地域に働く場所を

昭和50年代、最上地域は就労の場が少なく、職種が限られている状況にありました。高校を卒業した生徒の多くは地元での就職を希望しながらも、仕事を求め、県外へ出ざるを得ませんでした。そうした状況もあり、新庄中核工業団地への企業進出には大きな期待が寄せられていました。昭和60年に第1号の企業が操業を開始して以来、バブル経済の追い風もあり、平成4年までに34社が進出し、団地内の従業者数は約1400人に

達しました。

令和3年4月時点で、新庄中核工業団地では1875人の方々が働いており、新庄市からは1098人、大蔵村からは94人が就労しています。全従業員のうち、95・4%が最上地域の方であり、新庄中核工業団地は、この地域の「働く場所」として大きな役割を担っています。

新庄中核工業団地内の企業数は
最上地域最多の56社

現在の新庄中核工業団地の分譲率は94・8%(残り1区画)であり、製造業や建設業、運送業など幅広い業種の企業56社が操業しています。中でも製造業がもっとも多く、自動車やスマートフォンの部品など、身近なものから、PM2.5の測定器や東京スカイツリーの内外装の金属パネルなど、日本の技術力を象徴する製品が作られています。その技術力の高さから、ここにしかない技術力で特注品の製造を請け負う企業も多くあります。

道路網の整備が
企業進出の後押しに

新庄市は国道13号と国道47号が

交差する交通の要衝です。さらに近年では、高速道路や高規格道路の整備が進んでいます。平成11年に新庄インターチェンジが開通し、平成14年に新庄南バイパスが新庄市福宮まで延伸したことで、国道13号尾花沢新庄道路とのアクセスがスムーズになりました。また、平成23年には大蔵村大坪地区と新庄中核工業団地を結ぶ市道も開通。団地南側から国道47号本台海へのアクセスがスムーズになり、大蔵村から新庄中核工業団地への所要時間も大幅に短縮されました。近年の周辺道路網の整備が、企業進出の後押しにもなりました。

地域での雇用拡大を目指し
行政と企業が連携

最上8市町村や民間事業者で構成される「新庄中核工業団地企業誘致促進協議会」があります。この協議会では企業の誘致活動や立地に関する情報交換などが行われています。また、団地内に工場の新設や増設などを行う企業に奨励金を交付する制度を協議会で設け、地域での雇用拡大を図る取り組みも行われています。将来の担い手確保や若者の地元定着に向け、行政と企業が連携した取り組みが進められています。



◀新庄中核工業団地
企業一覧はこちらから

←大蔵村

福宮

新庄南バイパス

福田

ふくだのやま
あじさい保育園

新庄IC→

／ 新庄中核工業団地の企業で働くみなさんから ／



株式会社エッサムに勤務する
安彦 駆さん(台海)

地元が近く、高校で学んだ
機械の知識を活かせる職場

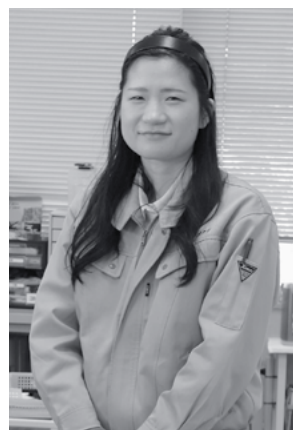
高校を卒業してすぐの平成28年4月から株式会社エッサムで勤務し、今は印刷業務を担当しています。中学生時の職場体験、高校生時のインターンシップでもお世話になりました。地元が好きなので、県内就職を希望していました。同級生のお父さんが勤務しており、話を聞いたり、勧めてくれたりしたことが就職の決め手になりました。高校では機械システム科で、ロボット研究会にも所属していました。その頃から、何かを作ることや試行錯誤を重ねることが好きでした。機械トラブルへの対処など、高校で学んだことを活かせる場面が多くあります。年は離れていますが、同じ趣味を持つ先輩との交流のあるため、仕事面でも助言を求めやすい環境にあることをありがたく感じています。



株式会社オール食品工房に勤務する
佐藤 広行さん(新庄市)

調理師の資格を活かし
商品開発を担当

子どもが生まれたことをきっかけに転職し、令和元年8月から株式会社オール食品工房で勤務しています。通勤時間は10分程度です。調理師の資格を活かせる職であり、「この『さくらんぼ鶏』を多くの方に知ってもらいたい!」という思いで働き始めました。今は、さくらんぼ鶏を使った商品開発を担当しています。何度も試作を重ねて商品が完成しますが、その開発段階の時間も楽しいです。自分が開発した商品がお客さまのもとに届いて、笑顔になってくれたらうれしいですね。この会社で働くことで、料理の知識や幅が今まで以上に広がったと感じています。多くの方が新庄市に足を運ぶきっかけとなるようなさくらんぼ鶏の商品開発を手がけていきたいです。



株式会社山形メタルに勤務する
日景 美香さん(新庄市)

通勤は子どもと一緒に
団地内の保育園を利用

友人に紹介してもらったことがきっかけで、令和2年4月から株式会社山形メタルに勤務しています。前の職場は夜勤があった大変でしたが、子どもや家族と過ごす時間を大切にしたいと思い、転職先を探していました。今は、材料発注などの事務を担当しています。就職の決め手となったのは、団地内にある「ふくだのやまあじさい保育園」でした。子どもが7か月の頃から保育園に預けていますが、毎日楽しく通ってくれているのがわかり、うれしく思います。園から「子どもが熱を出した」と連絡があってもすぐに迎えに行ける場所にあるので安心です。立地企業が協力してつくった保育園ですので、子育てと仕事の両立を応援してくれるところがとても助かっています。



地域の人働きやすく、働きたいと思ってもらえる新庄中核工業団地へ

新庄中核工業団地立地企業協議会
会長 庄司 正人 氏



東北中央自動車道の直結で
安定的な輸送に期待

新庄中核工業団地は、北側に国道47号の新庄南バイパスが直結し、国道13号尾花沢新庄道路の新庄インターチェンジまで、わずか2分の場所にあります。ついに今年、村山と東根間の東北中央自動車道が開通となり、新庄市から東北中央自動車道までが直結となります。今後、交通の利便性が向上すること、輸送コストを下げることはもちろんのこと、より安定的な輸送が可能になることを期待しています。

立地企業を知ってもらう
「オーダーメイド工場見学会」



▲ 新庄中核工業団地の北側に接続する
国道47号新庄南バイパス

団地内の48社が加入する新庄

子育て世代の声をもとに開設
「ふくだのやまあじさい保育園」

立地企業協議会では、協議会設立30周年の節目で、企業主導型保育施設「ふくだのやまあじさい保育園」を開設しました。この保育園は、協議会の分科会で出た働き盛りの若い方々の発案をもとに検討を重ねて実現したものです。保育園ができたことで、子育てをしながら、安心して働くことができました。環境を整えることができました。ほかにも、団地内をきれいに保つためのごみ拾いなどの環境美化活動、従業員の福利厚生、労務対策を実施しています。

企業の成長が
地域の雇用へつながる

新庄中核工業団地が最上地域の一大生産拠点であることはもちろんのこと、最大の雇用の場でもあります。企業は成長すること、地域での雇用を増やすことができます。企業の成長に合わせて投資を行い、地域に働く場所を作ること。それがこの場所で会社を営む自分たちの使命です。働く場所があるからこそ、この地域で暮らすことが実現できます。企業を成長させること、働く場所を確保することが、人口減少という地域課題の解決への一助になり得るのではないかと考えています。そのために、わたしたちは企業を成長させていかなければなりません。今後、地域の皆さんにとって働きやすい、そして、働きたいと感じてもらえる新庄中核工業団地を目指していきます。



▲ ふくだのやまあじさい保育園に通う子どもたち

もがみ中央農業協同組合などから カーブミラー4基が村に寄贈



11月15日(月)、もがみ中央農業協同組合と全国共済農業協同組合連合会より村へカーブミラー4基が寄贈されました。地域の交通安全に役立ててほしいと、昭和48年から毎年寄贈していたっており、これまで188基のカーブミラーが村内各地に設置されています。交差点などに設置させていただきます。ありがとうございました。

オクトーバー・ラン&ウォーク 大蔵村が山形県第3位に



10月の1か月間、スマートフォンの専用アプリを活用して、ランニングの距離とウォーキングの歩数を競う「オクトーバー・ラン&ウォーク2021」が行われました。大蔵村は初めてのエントリーながら、113人が参加し、山形県内の自治体対抗戦で県内第3位という結果となり、大会を主催した山形新聞社から表彰状の伝達を受けました。

NPO法人Oh蔵SPORTが文部科学大臣表彰を受賞



NPO法人Oh蔵SPORT(菅野明理事長・金山)が生涯スポーツ優良団体として文部科学大臣表彰を受賞しました。Oh蔵SPORTは平成21年に発足以来、地面出し競争やグラウンドパークゴルフ、キッズダンスなどを実施し、老若男女がスポーツに親しんでおり、地域のスポーツ振興に貢献していることが評価されました。菅野理事長は「一人ひとりがスポーツを盛り上げてくれている。これからもみんなのやりたいことを実現していきたい」と展望を話してくれました。

門脇心春さん(季の里)、後藤舞依さん(清水三) 中学生の税についての作文で入選



門脇心春さん(季の里)



後藤舞依さん(清水三)

中学生の税についての作文で大蔵中3年の門脇心春さん(季の里)が一般社団法人山形県法人会連合会会長賞を受賞しました。門脇さんは作文の中で「救急車や災害対策には多くの税が投入されているからこそ、安心して暮らすことができる」と記しています。同じく3年の後藤舞依さん(清水三)が新庄税務署署長賞を受賞しました。後藤さんは「選挙権と税金の結びつきを考え、一人ひとりを大切にする税金の使い道に注目して投票したい」と伝えていました。



▲ 色々なペンを使って鮮やかなしおりを完成させました

本に親しむきっかけづくりに 中央公民館図書室まつり

11/23(火)、中央公民館の図書室まつりが開催されました。読書の秋に合わせて、毎年開催しているもので、今年は祝日に合わせて、図書室を開放しました。絵本とお話の会「フレデリック」がおはなし会や絵本診療所、オリジナルのしおりづくり、ブックリユースを企画しました。図書室に訪れた子どもたちは色ペンで絵を描いたり、シールを貼ったりして、オリジナルのしおりを完成させていました。



▲ スパイクにつなげるレシーブが肝心です

毎年恒例のフリーバレー大会！ まつバレー蔵チャンカップ

11/28(日)、赤松生涯学習センターでフリーバレー大会「まつバレー蔵チャンカップ」が開催されました。フリーバレーは柔らかく軽いビニールのボールを使ったスポーツです。村内外からフリーバレー愛好者を中心に29名が参加し、5チームの総当たり戦が行われました。和やかな雰囲気ながらも、一点を争う真剣なレシーブやスパイクが繰り返される熱戦の中、「本家と別家」チームが優勝しました。



▲ 正確に素早く野菜を渡していきました

1月の本番にむけて ピンピンピックの練習が始まる

12/8(水)、升玉地区でふれあいサロンが開催されました。介護予防大会「ピンピンピック」の練習が行われ、4種目の競技をそれぞれ練習しました。競技の一つ「野菜出荷リレー」では決められた順番に野菜をどれだけ早く最後の人に届けるかのタイムを競います。升玉地区ではスムーズに野菜の運搬が行われていました。参加したみなさんは「本番にむけて、みんなで集まってもっと練習をしたい」と意気込みを話してくれました。



▲ アンケートの回答もスムーズにできるようになりました

自宅のタブレット端末を持ち寄って 初めてのタブレット教室

12/15(水)、烏川公民館でタブレット教室が開催されました。村では新しい防災行政無線システム「くらうち」が使えるタブレット端末を各世帯に配布しています。今回は高齢者を対象にしたタブレットの操作方法の教室で、危機管理室の職員が講師となり、音量の調整の仕方や添付ファイルの開き方などを学習しました。参加した方は「今まで飾りものだったけど、使い方がわかった。他の人にも教えたい」と話してくれました。



教育振興会 令和4年度奨学生を募集します

▶応募資格

大蔵村に住所を有する者の子弟で、令和4年度に高校・専修学校・大学・大学院に進学を希望し、または現に在学している方で、学力優秀かつ学資の支弁が困難な方

▶貸与額と募集予定人数

- ①高校奨学生
月額20,000円以内/若干名
 - ②専修学校奨学生
月額50,000円以内/若干名
 - ③大学・大学院奨学生
月額50,000円以内/若干名
 - ④医師及び歯科医師を養成する大学・大学院奨学生
月額100,000円以内/1名程度
- ※人数は変更になる場合があります

▶提出書類

- ・奨学生願書
- ・成績証明書
- ・健康診断書
- ・保護者の所得証明書及び納税証明書

▶申込締切

2月21日(月)

☎教育課 教育総務係

☎75-2323

高齢者世帯の雪かきのお手伝い 除雪ボランティアを募集

▶除雪ボランティアにご登録ください

雪かきが困難な高齢者世帯などの除雪のお手伝いをしてくれるボランティアメンバーを募集しています。ぜひ、ご登録ください。

▶活動日程

1月から3月までの期間(1回～2回程度)
午前9時から正午まで
※詳細は登録後にお知らせします

▶活動範囲

大蔵村内

▶申込方法

申込用紙は村社会福祉協議会にありますので、ご連絡ください。また、村ホームページからダウンロードすることもできます。申込用紙に必要事項を記入のうえ、社会福祉協議会にお申し込みください。(申し込みは随時受付)

▶その他

- ・除雪場所へは現地集合になります
- ・除雪に必要なスノーダンプやスコップなどの用具はご持参ください
- ・主催者側でボランティア活動保険に加入します(保険料の自己負担はありません)

☎村社会福祉協議会

☎75-2104(内線273)



子育て世帯への 臨時特別給付金を支給します

新型コロナウイルスの影響が長期化する中、子育て世帯の生活支援を行うため、18歳以下の児童を養育する方に給付金を支給します。

▶支給要件

- 次のいずれかの支給要件を満たす方
- ①令和3年9月分の児童手当を受給している方(特例給付を除く)
- ②令和3年9月30日時点で、平成15年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた児童を養育する父母等のうち、所得の高い方
- ③令和3年10月1日から令和4年3月31日までの間に生まれた新生児の児童手当を受給している方

▶支給額

児童一人につき10万円

▶申請について

支給要件によって、申請の有無が異なりますので、村ホームページまたは健康福祉課福祉係でご確認ください。

▶申請締切

3月31日(木) ※必着

☎健康福祉課 福祉係

☎75-2104(内線275)



▲詳細は村ホームページでご確認ください

村県民税の申告相談は2月から 準備はお早めに！

▶村県民税の申告が必要な方

令和4年1月1日現在、大蔵村に住所がある方

▶申告に必要なもの

- ①印鑑
- ②個人番号(マイナンバー)カードまたは番号確認書類と本人確認書類
- ③所得の計算に必要な主な書類
 - ・給与や年金収入がある方は源泉徴収票原本
 - ・営業や農業、不動産収入がある方は収支内訳書や帳簿など
 - ・個人年金や生命保険一時金などの収入がある方は収入がわかる書類

※シルバー人材センターからの配分金や持続化給付金も収入です

④控除を受けるために必要な主な書類

- ・国民健康保険税や介護保険料、国民年金保険料の領収書
- ・生命保険料や地震保険料等の控除証明書
- ・医療費控除の明細書またはセルフメディケーション税制の明細書
- ・身体障害者手帳や療育手帳など
- ・寄附金受領証明書

☎住民税務課 税務係

☎75-2103(内線252)

診療所 深瀬龍先生の 新型コロナこらむ

副反応はこれまでどおり！
1日から数日で自然に治ります



第13回 3回目接種の副反応

3回目の新型コロナワクチン接種の副反応はこれまでと同じで数日で治ります



先月号で3回目のワクチン接種へのご協力をお願いしましたが、多くの方が副反応のことが気になっているかと思います。また、副反応が心配でワクチン接種をためらう人も多いと思います。開発した企業各社からの報告やイスラエルの研究結果からは、副反応はほとんど2回目と同じくらいとされています。3回目だからといって、副反応がますますひどくなるわけではないので、ご安心ください！これまでと同様、打った部位の痛みや腫れ・だるさ・熱・頭痛は出る可能性がありますが、1日から数日で自然に軽快します。

新型コロナウイルスのワクチンを打つことが皆さんと家族を守り、学校や職場・施設を守ることにつながります。ご協力よろしくお願いします。

シリーズ 最上南部3町村縄文文化発信推進会議

10 繫げよう 縄文の輪



昭和と平成に発掘調査を実施

大蔵村の上竹野遺跡では、昭和初期から遺物の散布が確認されていました。昭和20年代に2回の発掘調査が行われ、縄文時代晩期から弥生時代中期の遺跡として有名となりました。平成27・28年には国道458号道路改良事業で山形県埋蔵文化財センターによる発掘調査が行われ、縄文時代と弥生時代の遺構・遺物が確認されました。



土偶の出土状況

大蔵村の上竹野遺跡 |



縄文・弥生土器や刺突文土偶が出土

主な遺構として、竪穴住居跡4基、掘立柱建物跡1基、捨て場6か所、土坑、柱穴などが確認されました。出土した遺物は、縄文土器・弥生土器・石器・石製品・土偶などの土製品です。中でも、弥生時代の捨て場からは、水平に安置されたような頭部のない土偶が出土しました。この土偶は、道具を刺して文様を付けられており、刺突文土偶と呼ばれています。



所蔵：山形県埋蔵文化センター

2月4日午前0時～午前3時
119番通報の際に注意！

NTTの電話回線工事のため、119番通報および消防本部への一般電話が繋がらない時間があります。通話中の場合は切れることなく会話することができますが、新たな通話は接続できません。消防本部への電話が繋がらない場合には下記の電話におかけ直してください。

▶接続が不能となる時間

2/4(金)午前0時～午前3時のうち3分間

▶代替の電話番号

☎080-2812-8336

☎090-4635-9753

☎最上広域消防本部 ☎22-7521

灯油の流出事故に注意
屋外タンクの点検を！

毎年、灯油の流出事故が多発しています。油流出事故による油の撤去費用は原因者の負担となります。屋外の灯油タンクの点検をお願いします。

▶灯油タンクのチェック事項

- ・タンク本体や脚部、バルブ、配管にサビや損傷はありませんか？
- ・タンクの土台はしっかりしていますか？
- ・防油堤はありますか？
- ・水抜栓は閉まっていますか？
- ・屋根から雪が落ちても転倒しませんか？
- ・除雪時に破損しないよう配管に目印はありますか？

▶油の流出を発見したら

お近くの消防署や警察、役場へご連絡ください。

☎山形河川国道事務所

☎023-688-8421

山形県の特定(産業別)
最低賃金が改正

令和3年12月25日で山形県の特定(産業別)最低賃金が改正となりました。県内4つの産業の基幹的労働者に適用されます。

▶特定(産業別)最低賃金

- ・一般産業用機械・装置等製造業
時間額 888円
- ・電気機械器具等製造業
時間額 872円
- ・自動車・同附属品製造業
時間額 888円
- ・自動車整備業(分解整備に従事する者)
時間額 892円

☎県労働局賃金室 ☎023-624-8224

ハローワーク新庄
職業訓練の相談会

3月開講予定の職業訓練の相談会を開催します。訓練実施施設の先生との個別相談ができます。ぜひご参加ください。

▶とき 1/12(水)、1/25(火)

13:30～16:00

▶場所 ハローワーク新庄4階

▶訓練の種類

パソコン、簿記、VBAプログラミングなど

※受講料は無料。ただし、テキスト代等が別途かかります。

☎ハローワーク新庄 ☎22-8609

編集
後記

あけましておめでとうございます。今月号は令和4年最初の号です。今月は新たな取り組み「共同広報」として新庄市と一緒に制作しました。表紙と特集は新庄市と同じ内容になっています。取材を進めていくと、新庄中核工業団地には大蔵村の方々が多く勤めていることがわかりました。特集で登場する安

新庄税務署
確定申告のお知らせ

▶とき

2/7(月)～3/15(火)

9:00～17:00(土日祝を除く)

▶場所 新庄税務署

▶入場には整理券が必要です

会場内の混雑緩和のため、整理券を配付しています。会場での当日配付とLINEでの事前発行があります。

☎新庄税務署

☎22-5113

令和4年度山形県みどり豊かな
森林環境づくり推進事業

やまがた緑環境税で支援する県民参加による森づくり活動を募集します。

▶支援する活動内容

豊かな森づくり活動、自然環境保全活動、森や自然とのふれあい活動、木に親しむ環境づくり

▶交付金額

1団体あたり 50万円(上限)

▶募集締切 2/4(金)

☎役場産業振興課農村整備係

☎75-2105(内線232)

新庄市夜間休日診療所
のご案内

▶新庄市保健センター内に開設

☎29-6300

▶診療科目 内科・小児科

▶夜間受付(月～土)

18:30～21:00

▶休日受付(日・祝日・12/31～1/3)

8:30～11:30/13:00～16:30

☎新庄市健康課健康推進室 ☎22-2111

彦さんのことは彼が中学生の頃から知っていますので、立派に働く姿がとても頼もしく、うれしくなりました。また、「地元が好き」という言葉にこちらが励まされる気持ちになりました。最上地域が一体となって地域に働く場所づくりを行っています。自治体広報も手を取り合って、この地域を考え、好きになるきっかけの一助になればと思います。

新型コロナウイルスのお知らせ

3回目接種のご案内が届いた方へ

▶3回目のワクチン接種について

令和3年6月1日までに2回目の新型コロナウイルスワクチン接種が完了した方に、3回目の「集団接種のご案内」を送付しました。

▶日程 令和4年1月30日(日)または2月6日(日)

▶案内が手元に届いたら中身を確認！

・日時、バス時間等のご案内

・接種券付与診票

・予診票の記入例

▶接種当日は

・体温を測りましょう(37.5℃以上だと接種できません)

・接種券付与診票と本人確認書類(保険証や免許証など)を忘れずに持ちましょう

・集合時間に遅れずに集合しましょう。特に、降雪時は気を付けて！

・すぐ脱ぎ着のできる、肩を出しやすい服装で来場してください(例：半そでの上に前開きのセーター、その上に厚手の上着をはおるなど)

・会場となる中央公民館では、ワクチン接種当日に限り土足で移動できます。

※次回以降の集団接種については、日程が決まり次第、追ってご連絡いたします

☎新型コロナウイルス接種対策班 ☎75-2324

読んであげたい今月の1冊に

絵本とお話の会 フレデリック

📧 今月の1冊 📧

「どんぶらどんぶら
七福神」

文 みきつきみ
絵 柳原 良平



(こぐま社)

七人の神様の七福神。みなさんどんな神様が知っていますか。七福神はインド・中国・日本のさまざまな神様からなり、生まれて育ちも違う神様たちが力を合わせて、人々に福を授けると考えられています。この本はリズムカルな言葉で、小さな子どもにもわかりやすく七福神を紹介しています。一年のはじまりに読むとご利益がありそうな絵本です。今年もみなさんに「福」が訪れますように。

- 中央公民館でかりることができます
- 読み聞かせ時間 2分

戸籍の窓

11月16日～
12月15日届出分

お悔やみ申し上げます

地 区	お名前(年齢)	世帯主
白須賀	加藤タケ子(79)	三郎
合海	伊藤ハル子(92)	栄一
清水二	柿崎 末蔵(84)	末蔵
清水三	早坂美紀子(73)	嵩志

※届出の際に、掲載希望の確認を行っています。担当窓口にお申し出ください。

人のうごき

令和3年11月末現在
()は昨年同期

世帯数	1,043戸	(1,052戸)
人 口	3,032人	(3,116人)
男	1,517人	(1,551人)
女	1,515人	(1,565人)
出 生	男 1人	女 0人 計 1人
死 亡	男 1人	女 3人 計 4人
転 入	男 3人	女 7人 計10人
転 出	男 1人	女 4人 計 5人

1月の予定

7日(金) 肘折さんげさんげ
9日(日) 第72回大蔵村成人式
18日(火) 行政相談
20日(木) ヘルシーティース
29日(土) 肘折幻想雪回廊

村税の納期限

☎ 税 目 国民健康保険税 第7期
☎ 納期限 1月31日(月)
納期限まで忘れずに納税しましょう。
口座振替の方は残高の確認をお願いします。



初めての

年男・年女

今年は十二支の3番目「寅年」です。
大蔵小学校の寅年（平成22年）生まれのみなさんに
今年の抱負や頑張りたいことを発表してもらいました。
いろいろな夢と希望をもっているみなさん。今年もよ
い年になるといいですね！



寅年にまつわるエトセトラ

～大蔵村編～

大蔵村の寅年生まれのみなさん

12才（平成22年生まれ）	21人
24才（平成10年生まれ）	13人
36才（昭和61年生まれ）	33人
48才（昭和49年生まれ）	30人
60才（昭和37年生まれ）	57人
72才（昭和25年生まれ）	56人
84才（昭和13年生まれ）	43人
96才（大正15年生まれ）	8人

寅年にこんなことがありました！

大正15年	深沢発電所が設立
昭和13年	豪雪
昭和25年	大蔵農協ができる
昭和37年	大蔵村役場が完成／村営グラウンドが白須賀にできる
昭和49年	湯の台スキー場がオープン／赤松山崩れが発生
昭和61年	烏川大橋が完成／湯の台モトクロス場がオープン／豊牧地区地すべり防止排水トンネルが完成
平成10年	ごみ収集運搬が有料化／肘折で人力車が始まる／最後の村民運動会が開催
平成22年	南山交流センターが完成／戸籍の電算化がスタート／最上広域消防本部南支署が完成